

科目に関する別表（社会環境デザイン工学コース）

社会環境デザイン工学コースの学修到達目標

- a. 多面的視点からの思考力および土木技術者としての倫理観を身につけている。
- b. 基礎工学力に関する知識を修得し、それらに応用する能力を身につけている。
- c. 専門的基礎知識を修得し、それらに応用する能力を身につけている。
- d. 各種情報処理ツールを活用する能力、課題解決に向けたデザイン能力、コミュニケーション能力を身につけている。
- e. 実務遂行のための基礎的能力、自主的な自己研鑽能力を身につけている。

社会環境デザイン工学コースのカリキュラム・ポリシー

- ・ 入門科目で、土木工学を学ぶための基礎となる数学、物理および技術英語などを講義や演習、実習によって学びます。
- ・ 専門基礎科目で、三力学（構造力学、地盤力学および水理学）や測量学などの土木工学の基本となる技術を講義や演習、実習によって学びます。
- ・ 専門科目で、三力学や情報処理技術などの基礎技術の応用と実務への展開を講義や演習、実習によって学びます。
- ・ 発展科目で、コースが重視する「人と自然環境の共生」「社会基盤整備と管理」「地理空間情報を用いた防災・減災」の3テーマを中心に、より専門的な内容を講義や演習によって学びます。
- ・ 卒業研究関連科目で、最先端の研究に触れ、課題解決能力・課題探求能力・コミュニケーション能力・プレゼンテーション能力を伸ばします。
- ・ 授業の成績評価は、定期試験の結果、レポート、課題、ディスカッション、プレゼンテーションの成果、授業・ゼミナールへ取り組む意欲・態度などの観点から行います。卒業研究の評価は、卒業論文ならびに口頭試問などで行います。評価の結果、学修成果が一定の水準に達したと担当教員が認めた場合に単位が認定されます。

科目等 資質等	入門科目	専門基礎科目	専門科目	発展科目	卒業研究 関連科目
土木技術者としての倫理観	経営管理 産業経済学	土木技術の歴史	工学倫理 安全工学 学外実習および見学	建設マネジメント 環境生態学	
基礎工学力に関する知識と応用する能力	微分積分学 I・II・III 線形代数学 I 応用数学 A・B 基礎物理 A	連続体力学入門 基礎物理 B・C 基礎化学 生命科学			
専門的基礎知識と応用する能力		構造力学 I・II 地盤力学 I・II 水理学 I・II 計画学数理 測量学	構造振動学 応用地盤工学 水圏工学 都市・交通計画 社会環境デザイン工学 実験・演習 A・B	コンクリート構造工学 構造物設計工学 地圏環境工学 水文学 水環境工学 防災工学	
各種情報処理ツールを活用する能力	情報科学概論	社会環境デザイン製図 コンピュータ情報処理	空間情報処理学	数値構造解析 数値流出解析	卒業研究
課題解決に向けたデザイン能力		プロジェクト演習 II	プロジェクト演習 III 環境地質学	景観デザイン 地圏環境工学	卒業研究
コミュニケーション能力・プレゼンテーション能力	技術英語 I	技術英語 II プロジェクト演習 I	技術英語 III キャリアセミナー	国際インターンシップ グローバルセミナー A, B グローバルコミュニケーション演習 A, B	卒業研究
実務遂行のための基礎的能力	基礎実験	測量学実習	学外実習及び見学 学外実習および見学	建設マネジメント	
自主的な自己研鑽能力			維持管理工学	環境計量学 環境修復学	卒業研究